

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7年 3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	
法人名	医療法人 みゆき会
事業所名	グループホーム ひおきの里
所在地	鹿児島県日置市日吉町日置407番地1 (電話) 099-246-8611
自己評価作成日	令和7年2月27日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和 7年 3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所では、「慣れ親しんだ環境の中で、共に寄り添い共に暮らしながら、お一人お一人の人生を大切に生きのお手伝いをします」の施設理念のもと入居者様と共に日々暮らしながら、入居者様が笑顔で過ごせるよう、人としての尊厳を大切にし、受容、共感をこころがけ、地域に根差した施設を目指しています。

毎月行事を計画し、4月には、お花見、そして運動会、敬老会、クリスマス会など入所されてからも季節を感じていただける機会を作るよう心がけています。

施設の庭には、家庭菜園もあり季節の野菜が植えてあるので散歩がてら収穫したりして楽しんでいます。季節のお花も綺麗に咲いており目でも季節を感じてもらっています。

職員研修も積極的に取り組んでおり、毎月動画で研修を受けながらスキルアップに努めています。

月に2回の訪問診療、月に2回の訪問看護があり、日頃から医療と連携を図りながら体調管理に努めています。訪問看護ステーションとの24時間体制の連携確保、またMCSを導入し医師、看護師、職員等と速やかな情報共有を行ないケアに反映させる事ができ、「こころ」「からだ」の健康を支えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、自然豊かな日置市日吉町日置地区の中心地に平成24年に設置されており、広い敷地には小規模多機能ホーム、居宅介護支援事業所も併設されている。市消防団日吉方面中央分団に隣接し道路向かいには市役所日吉支所があり、少し離れて郵便局や中学校、銀行、スーパーマーケット、ガソリンスタンド、個人商店等があり利便性に恵まれている。県道37号線から少し入っているため気になる騒音等は無く快適に過ごせる環境で、現在、介護度1～5（平均介護度2.44）、86～99歳（平均年齢92.7歳）の16人（うち男性2人）の利用者が入所中で、個々の心身の状況や特性、習慣等に配慮したきめ細かなケアを受けながら、快適で平穏な日々を過ごしている。

協力医療機関（法人母体）とは日常的に健康状態や疾病の状況の連携を密に図り、訪問診療や医療連携の看護師の訪問が定期的実施され、同法人の訪問看護ステーションとも連携を密にしている。24時間医療連携の体制が築かれ看取りケアの体制も充実されており歯科の訪問診療や他科受診など適切な医療が受けられて、利用者や家族の安心に繋がっている。

管理者及び職員は、ホームの理念に沿って年度目標も設定して、利用者の誇りや人格、尊厳を大切に心身の特性や習慣等を尊重したその人らしい人生を過ごせるケアに努めている。日頃から利用者及び家族の思いや要望の把握に努め、利用者の自己決定を大切にしており、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防に配慮しながら、季節に応じた行事の実施や周辺の散歩、季節の花見、保育園児との交流、ボランティアの受け入れ、家族との面会や通院等、可能な限り思いに沿った支援に務めている。家族や友人との面会や電話、手紙の取り次ぎも積極的に支援し、室内での運動会や七夕飾り、クリスマス等のレクリエーションも季節感や地域の習慣にも配慮した工夫で利用者のリフレッシュを図っている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は、事務所、各ユニットに貼り出し意識して動けるようにしている。	開設時からの理念は、事務所や各ユニット入口に掲示しパンフレットにも記載して周知を図っている。ユニット会議やカンファレンス時にはケアの振り返りや意見交換等を行なって理念を共有し、年度目標も設定して利用者の尊厳や人格、特性等を大切に可能な限り思いに沿った支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事である”せつべとべ”や”太鼓踊り”など地域の方々に協力してもらい施設まで出向いて披露してもらっている。	地域との交流を大切に取り組んでおり、自治会に加入して総会の出席や民生委員等から情報の把握に努めている。周辺の散歩や季節の花見、通院、訪問理美容、地域の清掃活動、保育園児からの七夕飾りのプレゼント、スーパーでの買い物、ボランティアの受け入れ、災害訓練への住民の参加、家族との墓参りや外出、外食、法事への参加、日常的に農産物を頂く等、円滑な交流が図られている。地域住民から寄せられる認知症ケアや高齢者福祉に関する相談にも丁寧な助言に努めており、法人本部はサポーター養成講座も開催している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	職員は、認知症サポーター養成講座を受講し、ご家族や地域の方々に理解して頂けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を実施しておりグループホームでの行事や取り組みを伝えていきます。同時に、その内容についてのご意見を伺っています。年に2回は避難訓練も、一緒に参加してもらっています。	会議は家族代表や民生委員、自治会長、地区公民館長、市担当者等が出席して隣接の小規模多機能ホームと合同で隔月毎に開催している。ホームの現況や課題、ヒヤリハット、事故等の報告を行い、委員から出された地域の情報やケアに関する質問や意見を基に熱心に意見交換している。寄せられた意見はユニット会議等で協議して運営やサービスの向上に繋げており、会議の内容は家族にも送付して共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加して頂き、事業所の活動を報告しています。	市役所日吉支所の担当者には運営推進会議への出席等でホームの状況は理解を得ており、窓口に出向いたり電話、メールで介護保険の更新や各種制度の相談及び報告、感染症関連の協議等に取り組み、協力関係を築いている。介護相談員を2か月ごとに受け入れ、市や地域包括支援センターからの情報の把握に務め、会議や研修にも可能な限り参加して運営やサービスの向上を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	平成30年5月より法人内に「身体拘束廃止委員会」を設置し3ヶ月に1回の委員会を開催し職員への周知を図っている。また、入職時の研修や動画での研修を行い、スキルアップを図っている。	身体拘束の適正化や高齢者虐待については、日頃から十分配慮して利用者のケアに従事しており、委員会を年4回開催すると共に不適切ケアの事例も取り入れた身体拘束、高齢者虐待の研修を年2回実施して認識を共有している。日常的にケアの振り返りや意見交換を行って利用者の思いや自己決定を尊重した自由な暮らしの支援に取り組んでいる。日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用中の利用者はいない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	動画研修により、高齢者虐待防止法等について学んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	動画研修により、毎月研修で学び活用できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書や個人情報提供の同意書、契約書や入所時リスクの説明、看取りに関する指針や急変時の対応についての意思確認等々、丁寧な説明を心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置し、自由に意見や要望を記入していただくようにしている。また、管理者への電話でいつでも相談して頂けるようにしている。職員が受けた意見や要望は、管理者へ報告し速やかに対応できるよう取り組んでいる。	重度化により発語やコミュニケーションが難しい利用者もいるが、日頃の寄り添いや見守りでの会話や表情、独自のサイン等での思いを汲み取り、家族からは面会や電話、意見箱、手紙、介護計画作成時の面談、運営推進会議、毎月の「里便り」の送付等で意見や要望を気軽に述べて貰える対応に努めている。出された意見、要望はユニット会議等で協議して運営やサービスの改善に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やアンケートなどでそれぞれの意見や提案を聞く機会を設け、意欲的に働けるよう取り組んでいる。	管理者及び職員（30～70歳代）は忌憚なく意見を言い合える信頼関係を築いており、日頃の業務の中やユニット会議、申し送り、カンファレンス等で意見や要望を出し合い、人事考課（年2回）に伴う個人面談も行って業務やサービスの向上に取り組んでいる。管理者は日常的にケアへの助言、指導に努め研修の実施や休憩時間の確保、希望休や有給休暇の取得、勤務交替、個人的な事情等にも配慮するなど法人本部とも協議しながら働きやすい職場環境作りに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパスを導入し、自己評価や面談などで年間個人目標に対する取り組みや要望を聞く機会を設け、意欲的に働けるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外での研修への参加を推奨している。研修参加後は報告書を提出し、資料と報告書を回覧したり、伝達講習を行ったりし職員全員で知識の共有が出来るよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所連絡協議会やケアマネ協議会、その他研修など同業者が集まる機会に参加し交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入院先や自宅を訪問し、本人の要望や心配事を伺い、安心して入居できるよう支援している。また、入居後も環境の変化による不安や気分の落ち込みにも配慮し、傾聴しながら受容・共感的な支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入院先や自宅を訪問し、家族の要望や心配事を伺い、安心して入居できるよう支援している。また、面会時に入居後の様子を伝えたり、家族の要望を伺う機会を持つなど家族との信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人が出来る事、出来ない事を把握し、必要な支援を検討しアセスメントを基にケアプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	役割を持って生き生きと生活できるように、簡単な家事を一緒に行う等の支援を行っている。また、感謝の気持ちを伝え、次の意欲に繋がるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と密に連絡を取り、可能であればご家族に来所して頂くなどして関わりを持ってもらえるよう配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍以降、外出がままならない状況だが、家族や友人・知人に面会が出来るよう面会室での面会を実施している。家族や知人との電話や手紙の取り次ぎ等支援し馴染みの関係が途切れないよう努めている。	利用者毎の馴染みの人や場を家族や関係者、利用者の会話等から把握し家族の意向も確認しながら面会の実施や通院時に自宅周辺の様子や街並みを眺めたり、訪問理美容、ドライブによる毘沙門天公園や小学校の季節の花見等に取り組んでおり、家族との買い物や外食、冠婚葬祭への参列等も個別に支援している。電話や手紙の取り次ぎに努め、園便りの送付等、工夫して関係の継続に努めており、昔からの地域のイベント（せつべとべ、太鼓踊り他）の演舞はホームの玄関先でも披露されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が良好な関係を構築・継続できるよう身体状況や性格などに合わせて必要時介入をするなどして支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご本人やご家族からの相談などあった場合は必要な支援を行うようにしている。また、看取りの前後も精神的なサポートも心掛けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人やご家族からの希望や意向を把握しつつ、ご本人との会話の中でご家族との齟齬があった場合、ご家族に丁寧に説明し支援の理解・協力をもらうよう努めている。	重度化でコミュニケーションが難しい利用者もいるが、日頃の対話や寄り添いの中で工夫も行いながら表情や仕草、独自のサインによる意思表示で思いを汲み取り、状況によっては家族の意向も確認しながら自己決定を尊重した支援に努めている。利用者が希望する趣味（新聞や週刊誌の購読、ぬり絵、テレビや音楽の視聴、卓上オルガンの演奏等）や家事（お盆拭き、洗濯物たたみ、鉢の水やり他）の取り組みもプランに反映させて生きがいや達成感の修得を図っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族への聞き取りや担当ケアマネージャーなどからの情報収集を行ない、それを職員間で情報を共有できるよう取り組んでいる。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1か月に1回ほど、職員間で個別ケアについて話し合う機会を持ち、一人一人その人らしくその人のペースで生活できるよう支援している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者や計画作成者、リハビリの理学療法士など多職種でモニタリングを行いニーズを把握した上で、QOL向上に繋がるようご本人やご家族と話し合いながら計画を作成している。	日頃から本人・家族の思いの汲み取りに務め、主治医の指示や通所リハの理学療法士の助言、モニタリング及びカンファレンス時の職員の意見、日頃の記録等を基にケアの方法や楽しみ事にも配慮した介護計画を作成している。実施状況は申し送りや業務管理日誌、各種のチェック表等で共有し、状態の変化時には計画を実態に沿って変更しており、内容は家族にも説明して理解を得ている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアについて職員の気づきなど個別記録に残している。また、職員間ではMCSを使い情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況や要望に応じて柔軟に対応できるよう取り組んでいる。馴染みの床屋さんへの散髪など個別的な支援も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、近所の方々や民生委員さんの面会・ボランティアや自治体の相談員活動受け入れなど地域との交流が続いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による定期的な訪問診療・体調不良時の往診、または適宜他の医療機関の受診など適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者のほぼ全員が協力医療機関をかかりつけ医としており、定期的な訪問診療（月2回）や歯科治療が実施され、他科受診は家族が主体となっているが状況によってはスタッフも同行するなど連携して適切な医療が受けられている。医療連携による看護師の定期訪問で衛生や健康管理、感染予防対応が徹底され、協力医療機関や訪問看護ステーションとは24時間医療連携の体制も築かれて、利用者及び家族の信頼と安心に繋がっている	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの医療機関や、同法人内の訪看ステーションと24時間連携が取れる体制を確保している。また、定期での健康チェック以外でも看護職員に相談したり、指示や助言を受けられる環境にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	当事業所は入退院支援ルールに参加しており、医療機関と情報提供ができる仕組みがある。入院中も情報交換を行ない、ご本人やご家族が安心して入院加療ができるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様やご家族の希望があれば看取り介護も実施している。また、看取りに関する指針も整備しており、入居時ご家族に説明を行っている。医療と連携して終末期介護を提供した実績もある。	重度化及び看取りの対応は指針を整備し、利用開始時や病状変化時に本人及び家族に説明して理解を得て同意書も貰っている。重度化した時点で主治医や家族と十分協議し、可能な限り希望に沿った支援体制で取り組んで毎年1～2件（本年度は5件）の看取りを実施している。重度化や看取りケアの研修で認識を共有し、看取り終了後にはケアの振り返りや意見交換等を行ってスキルアップを図り、次回に繋げている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてはマニュアルに沿って対応できるようにしている。勉強会を開催し慌てず対応できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練を実施し、ご家族や地域の方々、入居者様にも参加していただき、緊急時に安全に避難できるよう取り組んでいる。日中と夜間用のフローチャートも作成・掲示済み。	年2回（うち1回は消防立ち合い）夜間想定を含む火災、地震対応の災害訓練を民生委員や地域住民も参加して実施し、消火器や防火設備の取扱いも研修している。連絡網を整備し日頃から地震や風水害の報道等を話題にして防災への認識の共有している。BCPは運営規定に約定しており、計画に基づいた研修の実施や災害発生時の飲料水、食料品、介護用品等をローリングストックしながら3日分備蓄し、カセットコンロやラジオ、防災頭巾等も備えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
razio ,						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として、苦しい時代を生き抜いてこられた大先輩として尊敬を大切にしながら敬意を持って接するよう心掛けています。プライバシーへの配慮も気を付けています。	法令遵守や倫理、プライバシー保護、接遇等の研修を計画的に実施して認識を共有している。利用者を人生の先輩として常に敬愛の気持ちでケアしており、心身の状態や習慣、生活リズム等に配慮しながら自己決定を尊重している。ホームはプライバシーに配慮した構造で、排泄や衣服の着脱時の支援は人格や羞恥心等にも配慮し、居室への入室はノックや声掛けを励行するなどマナーも大切に取り組んでいる。情報紙等への掲載の可否は入所時に意向を確認し、利用者に関する帳票等も適切に管理されている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	日常生活の中で入居者様の思いをさりげなく伺いながら、ご自身で選択して頂けるよう支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分のペースで過ごして頂けるよう支援している。生活のリズムを整えながらその人らしく生活できるよう支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お気に入りの洋服を着たり、お化粧をしたりご本人の望まれる事が出来るよう支援している。また、地域の美容院の方に2ヶ月に1回出張ヘアカットに来てもらっている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく食事がとれるような環境作りに努め、嗜好や嚥下の状態も考慮した食事提供に努めている。野菜の皮むきを手伝ってもらったり、片付けへの参加を促すなどしている。	利用者の嗜好や栄養バランス、形態、季節感等に配慮した月毎の基本メニューを作成し、利用者と一緒に収穫した菜園の野菜も活用して調理している。季節の行事食（お節、敬老会、彼岸、節句他）や誕生日のケーキ、園庭でのお茶会、ラーメンのテイクアウト、手作りのおやつ（かしわ餅、ふかし芋、桜餅他）等、食事が楽しみなものとなるよう取り組んでいるがホーム全体での外食やイベント時の家族との会食は控えている。食事や水分の摂取状況は利用者毎に把握し、口腔ケアも実施して健康の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	各ユニットの献立作成担当者が 指示食の有無を把握し、栄養バ ランスの取れた献立を合同で作 成し食事量や水分摂取量など記 録し健康管理に役立てている。 ソフト食の提供も始めた。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	入居者様の状態に合わせた口腔 ケアの支援を実施している。口 腔内の状態を確認したり義歯の 管理を行ないながら誤嚥性肺炎 予防を行なっている。歯科往診 の支援も行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄の記録を取り、入居者個々 の排泄パターンの把握に努める とともに、なるべく紙おむつに 頼らない自尊心に配慮した支援 を心掛けている。	排泄チェック表で利用者毎のパターンを把 握し、さりげない声掛けや誘導で可能な限 りトイレ（全居室にトイレが設置）での排 泄を支援しているが、重度化で常時や夜間 のみオムツ、ポータブルトイレを使用する 利用者もいる。繊維の多い食材や水分、乳 製品の摂取、運動量等に配慮して自然排便 に努めているが、半数近くの利用者が主治 医の指示で緩下剤を服用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	各ユニットで排泄チェック表を 作成し排便の有無の把握をして いる。食事や水分の摂取状態と 合わせ支援に役立てている。身 体を動かす機会を定期的に設け たり、必要時かかりつけ医に報 告、相談している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間帯も含め、ご本人の意向になるべく沿うようにしており、自立支援を念頭に必要な清潔支援に努めている。	基本週3回個浴で午前中に支援しており、状況によってはシャワー浴や清拭、足浴でも保清している。入浴時の順番や温度、時間、同性介助、好みのシャンプー、入浴剤等は意向に沿って柔軟に対応し、重度の利用者（2人）には2人介助も行ってゆっくり楽しんで貰っている。入浴が苦手な利用者にも無理強いしないで日時の変更や声掛け等の工夫で対応出来ている。入浴後にはお茶や白湯、アルカリイオン水等での水分補給や軟膏の塗布等を支援し、入浴が利用者との良好なコミュニケーションの場にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の体調や習慣に応じ柔軟に対応している。また、昼夜逆転にならないよう昼間の活動も含め良質な睡眠が取れるよう観察・支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医や看護師、薬剤師と連携し薬情の把握に務め、禁忌や副作用なども考慮しながら観察を行ない、適宜医療機関へ報告・相談できる体制を取っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	簡単な家事や手伝いをして頂いたり、季節に応じた行事や地域との関わりの中で喜びを感じてもらえるよう、また気分転換を図ってもらえるような支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や本人の体調を考慮しながら散歩や外出を計画・実施している。また、地域の行事やドライブ・花見なども計画・実施している。	利用者の意向や体調、天候等に配慮しながら、日常的に園庭や周辺の散歩を実施して地域の人との挨拶や作物・草花等を眺め、通院やドライブ時には馴染みの町や景色を車窓から楽しんでおり、毘沙門天公園や小学校、桜並木での季節の花見、買い物等に取り組み、家族との外出、一時帰宅、墓参、冠婚葬祭への参加も感染症予防に配慮しながら個別に支援している。また、ホーム内でも季節に沿った行事（正月のおみくじ、釈迦祭り、節分、七夕他）も実施してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	要望に応じて所持金を金庫で保管している。また生活用品や嗜好品等ご本人の希望に応じて使用できる体制をとり、ご家族へは毎月収支報告を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時は電話が出来る体制を取っている。携帯電話を所有されている入居者様については操作などの支援も行っている。ご家族からお手紙をもらったら返事を書くよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の清掃を毎日行い、清潔な環境を提供している。季節の花を飾ったり、ご本人と一緒に壁画作りをしたりして季節を感じて頂けるよう工夫している。	広い園庭には多種の樹木や草花が植えられ、バラの棚の下にはベンチも置かれている。建物全体がバリアフリーの構造で、昼間の殆どを過ごすホールは高い天井で余裕のある広さが確保され開放感に満ちている。活花や季節に応じた利用者の作品、写真等が飾られ観音様も置かれており、カウンターキッチンからは調理の音や匂いも伝わるなど、家庭的で和やかな雰囲気である。テーブルセットやソファ、テレビ、マッサージチェア等が動線や利便性に配慮して設置され、清掃や空調、換気、衛生管理も徹底して快適に過ごせる環境の中で、利用者は四季を感じながら平穏に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中にもソファや椅子を置き、思い思いに使用できるような環境を提供している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際にご本人やご家族と話し合いを十分に行い、可能な限り使い慣れた家具の使用を受け入れ、心地よく過ごせるよう環境作りに努めている。	フローリングに腰高窓（４室）や掃き出し窓の居室はウッドデッキも設置されて明るく、エアコン、電動ベッド、洗面台、トイレ、収納棚、加湿器等が備えてあり、利用者の意向や心身の状態に応じて設置している。利用者は自宅で愛用していた寝具（毛布やタオルケット）やテレビ、家族写真、小物等を持ち込み、自身の作品も飾るなど、その人らしい憩える居室となっている。居室入口の氏名表示のカードの裏面は利用者の心身の状態を記入して緊急時の対応に備えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に過ごせるよう環境を整え、分かりやすい案内や目印をつけたり、安全かつ自立した生活が送れるよう職員間で意見を出し合い工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない